

平成29年度 校長だより



不撓不屈

【糸満市立糸満中学校 教育目標】
 【知】主体的に学び
 【徳】心豊かで勤労を大切にする
 【体】心身ともに健康な生徒

【 強い意志をもって、どんな苦勞や困難にもくじけないこと 】

発行者 校長 與那覇正樹

いじめ撲滅行動宣言～生徒総会にて採択～

6月16日(金)に生徒総会がおこなわれ、生徒会の前年度活動状況・決算報告、今年度の活動計画・予算案が提案され、各学級の質疑に対して関係する各委員長が回答し承認されました。その後、各学級で討議された「いじめ撲滅行動宣言」が各学級ごとに発表されました。以下、各学級の宣言内容です。



【各学級のいじめ撲滅行動宣言一覧】

1年1組	いじめを見たら 見て見ぬふり をしない
1年2組	いじめを見かけたら 積極的に 注意する！
1年3組	みんな平等でいじめのないクラスにするため、 かげで人の悪口を言わないように1人1人が心がける
1年4組	いじめを見て見ぬふりをせず、みんなに優しく 一人一人の個性を 尊重し「結」 を大切にできるクラスにする
1年5組	みんなと 仲良く して、仲間はずれの人がいないようにする！
2年1組	仲間と言い合える関係を 築く
2年2組	相手のことを考えて、 行動 できるようにする！
2年3組	仲間 に寄り添ったり 、注意できる関係になる
2年4組	「 見て見ぬふり 」をせずに人の気持ちを考えて行動する
3年1組	いじめをしない、させない、被害者を 見逃さない 、加害者を 許さない
3年2組	一人一人 が相手を思いやり、いじめを見逃さない雰囲気づくりをする！
3年3組	人の 気持ち をを考えて、みんなと仲良くできる雰囲気作りを大切にする
3年4組	相手のことを思いやり、皆が 平等 に過ごせる環境づくりを目指す！

「いじめは許さない」と思っている、なかなか行動に移すことは難しいと思います。しかし、その気持ちの積み重ねが「大きな力」となって、困っている誰かを救うことになります。一人ひとりができることについて考えて見ましょう？
 あなたのまわりに悩んでいる人、不安な表情をしている人、気になる人はいませんか？
 「大丈夫？」
 声かけの勇気を・・・

【行為の意味】(宮澤章二)

あなたの「こころ」はどんな形ですか ひとに聞かれても答えようがない 自分にも他人にも「こころ」は見えないけれどほんとうに見えないのであろうか 確かに「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見えるのだ それは 人に対する積極的な行為だから
 同じように胸の中「思い」は見えない けれど「思いやり」はだれにでも見える それも人に対する積極的な行為だから
 あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いがやさしい行為になるとき
 「心」も「思い」も初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ



shimajiri district english story contest

6月16日(金) 島尻地区ストーリーコンテストが開催され、「The Book」というタイトルで島袋真理さん(3年4組)が出場しました。当日の全体朝会にて全校生徒に披露し、スピーチ力・表情・内容等すべてにおいて高いレベルで、静まりかえって体育館で全校生徒が聴き入っている姿が印象的でした。コンテスト本番では更に高いパフォーマンスでした。糸中の代表として誇りに思いました。指導してくれた先生方にも感謝です。

是非、生徒の皆さんも、真理さんのように英語力を身につけ、将来の夢・目標につなげて下さい。

【裏面に続きます。】

自らの安全を確保するための行動とは？ ～避難訓練～

6 月 22 日 (木) に地震・火災発生を想定した避難訓練が実施されました。授業中に地震による強い揺れを想定した一次対応の危険回避 (机の下などに身をかくす) の後、津波警報・火災発生を想定した二次対応 (火災発生場所や避難場所を確認し迅速な行動による避難) を行いました。避難場所を運動場へと指示が出され避難完了まで 3 分 50 秒でした。全校生徒・職員の迅速な行動の結果だと考えます。しかし、避難完了後の人員点呼に時間を要したことは今後の課題でもあります。大切なことは、災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、**状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動です。**生徒一人一人が危険を察知した段階で、素早く身の安全を確保することが命を守る上で重要です。自分の身の回りで落ちてくるもの、倒れてくるもの、移動してくるものはないかを瞬時に判断して、安全な場所に身を寄せることが必要です。**教室内だけでなく、学校のあらゆる場所、登下校中、家庭、朝・昼・夜・深夜等のあらゆる場面を想定して行動できるように家庭においても避難場所・経路等の確認をお願いします。**



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)がスタートしました!!



6 月 20 日 (火) に糸満市役所において糸満市教育委員会教育長より糸満中学校の学校運営協議会委員に委嘱状の交付が行われました。コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律 (地教行法第 47 条の 6)

に基づいた仕組みです。現在、市内では糸満中学校のほか高嶺小中学校が指定を受けています。

コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、主な役割として、「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる」等があります。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、自分たちの力で学校をより良いものにするために、継続的・持続的に「地域とともにある、特色ある学校づくり」を進めることができます。地域行事の盛んな糸満中ですので、協議会が「学校の応援団」として支援していただくことを期待しております。今後とも保護者・地域と連携しながら学校運営に努めていきますのでご協力をお願いします。

以下、学校運営協議会委員を紹介します。(敬称は略)

会 長	上原 雅志 (元校長・市青少協会長)	委 員	江口都美子 (糸満中 P T A 副会長)
副会長	中沼 豊 (糸満中 P T A 会長)	〃	天久三千代 (糸満市教育委員会)
委 員	玉城 安男 (自治会代表・南区自治会長)	〃	與那覇正樹 (糸満中学校校長)
〃	知名 清子 (市民児協主任児童委員)	〃	當間 保 (糸満中学校教頭)
〃	上原 義隆 (糸中 O B 野球同好会会長)	〃	安座間裕哉 (糸満中学校地域連携担当)
〃	宮里 一樹 (糸満市教育委員会)		
〃	石丸乃り子 (学校支援地域本部事業コーディネーター)		

※委嘱状交付の後、第 1 回学校運営協議会を開催し、学校経営方針や学校の現状について説明しました。今後は、生徒・保護者・職員アンケート (学校評価) を実施し、1 学期の取組の成果や課題について分析し、2 学期に向けての方向性について協議していく予定です。ご協力、よろしく願いいたします。

学校支援地域本部事業より ～ボランティアの協力・感謝します!!～

保護者・地域の方々が来校し、生徒・職員を支援していただいております。ここで、主な活動をご紹介します。

- ・朝の会や平和集会にて生徒への【読み聞かせ】を実施 (多感な中学生にも学力・情緒面においても効果有り)
- ・家庭科の実習における支援 (幼稚園との交流・移動の際の安全指導) (ミシン実習おける指導)

(トイレ清掃の方法を指導・協働作業) ※生徒の安全確保の面で助かっております



- ・保健行事への協力 (検診の際の補助等)
 - ・学習支援
 - ・部活動の支援
 - ・あいさつ活動 (民生員の方々が定期的に参加)
- ※今後ともご協力をお願いします。

